深くまで

R-18
ADULT
ONLY

Bakugo Katsuki×Midoriya Izuku
MHA Unofficial fan book

酷く
喉が渇く

ドク

心臓がうるせェ

ドク

息をするのも
忘れそうになる

ドク

緊張と

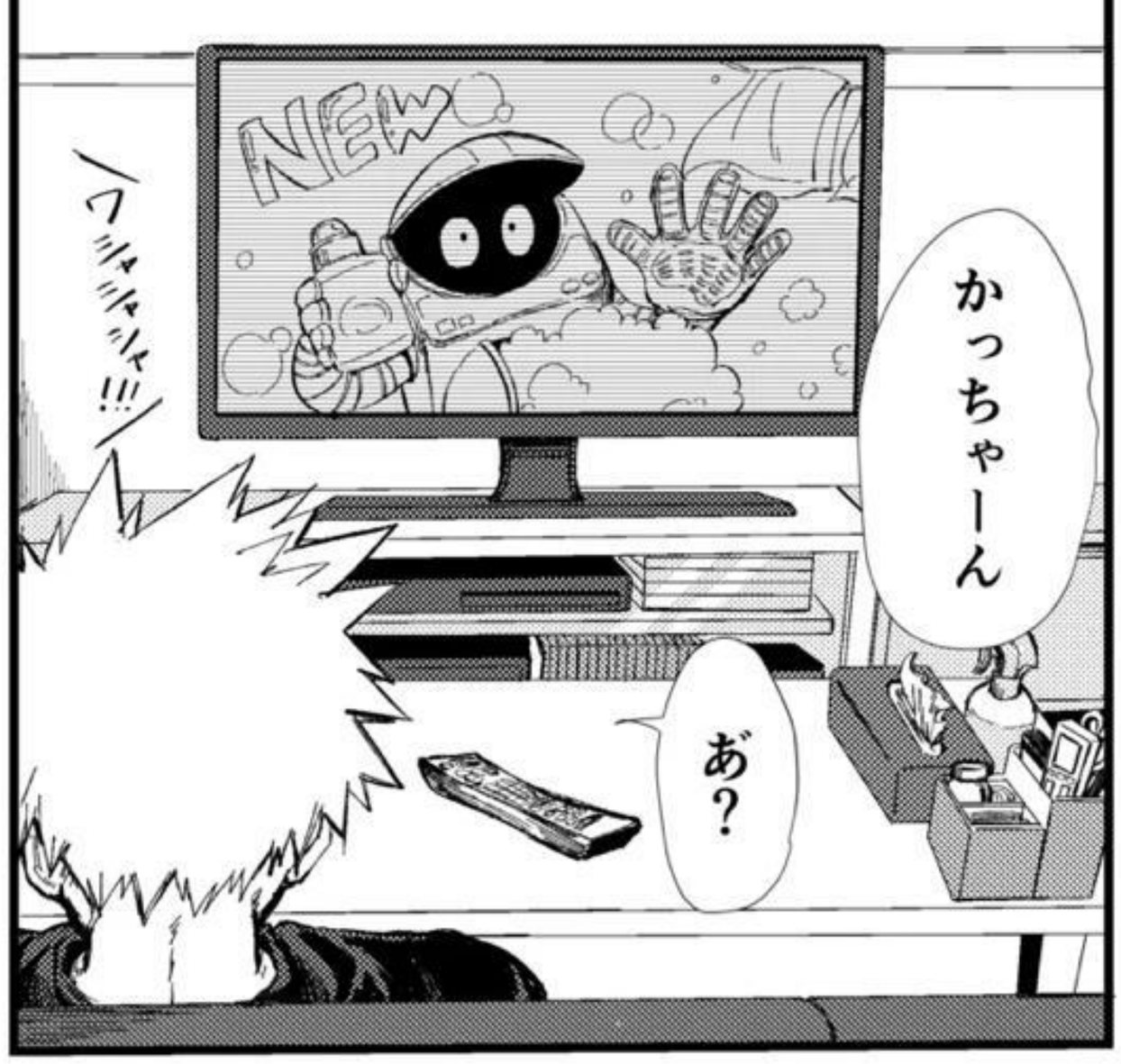
葛藤

ドク…

そして
興奮――

初めてのセックスをする

深くまで


NEW
ブルルルルル!!!
かっちゃーん
あ？

カチャ
カチャ

4日
僕もう少し洗い物かかるから先寝てていいよ
寝付けるって時にまた起こされたくねーんだよ
眠ィからはよしろ

ふぁぁ
眠たいね
パイ
てめーが洗いもん遅いせいだろーが
バタン
そーいやてめェ明日実家帰ンだろ

あ、うん
行くのは
昼からだけどね

晩御飯食べてくるから
帰るの22時くらい
になると思う

かっちゃんは
明日遅出だっけ？

いや昼間に
変更ンなった

え、急だね

上鳴達ンとこと
チームアップ

最近連続で起きてる
雷被害の事件だっけ？
組織ぐるみって話の

索敵班が主犯
突き止めたから
そこぶっ叩く

突き止めたんだ！
すごい

ようやく

そういえば
かっちゃんは実家
帰らなくていいの？

てめーに
言っとらんだけで
帰っとるわ

ぶわっ

え、そうだったの？
知らなかった！

…ババアが
うるせンだよ

そっかぁ

うと…

でもおばさん
嬉しいだろうな

あ…そろそろ
寝ないとね

かっちゃん
おやすみ

同居を始めて
一年が経つ

誘ったのは
俺からだった

目の前に居ると
ムカつく事の方が
多い筈なのに

いないと
落ち着かない

近くにいることは
もう嫌ではなかった

隣で眠ると安堵
してる自分がいる

それどころか——

触れたい

いつからか
そんな衝動が

湧くようになっていた

気が付けば

手を伸ばして
触れようとしている

これ以上の
持たなくて
いいもんまで

俺はこいつに
向けようとしている

その行動が
示す意味

触れたい
と思う意味

出久も

俺も

今、ここに
生きている

それでよかった
はずだ――

勝って

Booo Mii!!

救けて

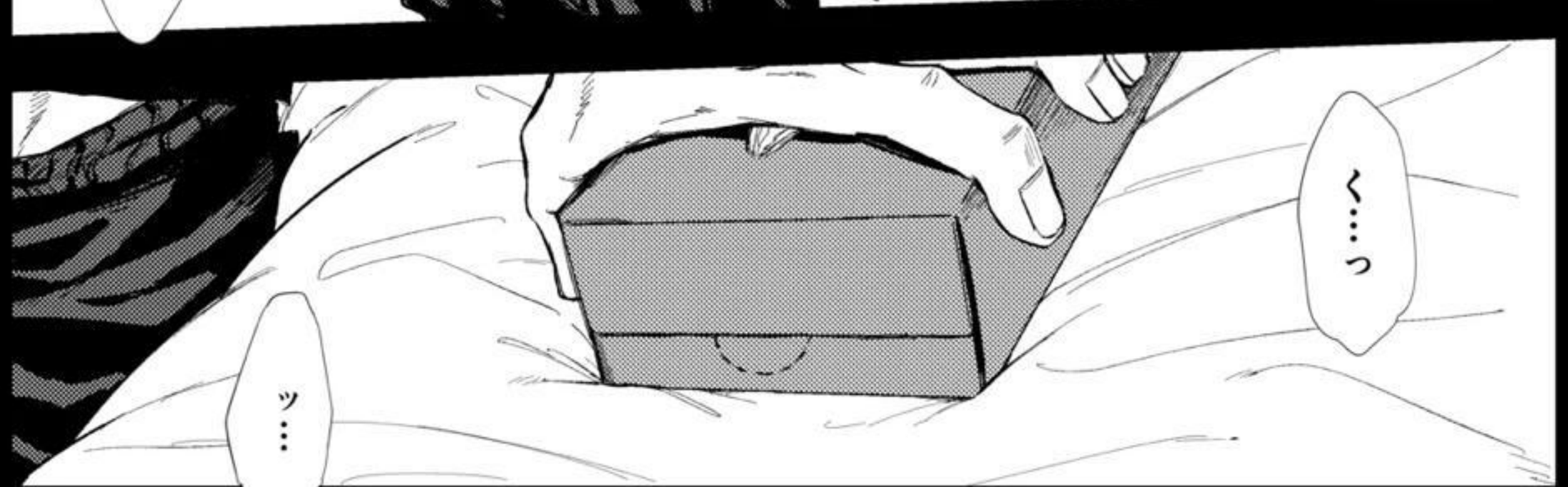
一番を追っかけて

生きて

完全勝利する

求めるもん
なんか

それだけで
よかったはずだ



こんなもんは

ただの処理だろうが

俺は――

こんなもんまで求めちまってンのかよ

クソが…

あ…？

なんだ…？

瀬呂

こいつから電話来んの久々だな

なんの用だよ俺ァ今日は休

爆豪…！

さっき…

休憩中に緑谷が倒れて…

…ッ

39.3℃
ピピ

てッめエー…
面目ないです…
ぶったおれるまで高熱に気付かンとかアホなんかてめェコラ
ベローン
ビチ
ビチ
18.2℃

朝はなんともなかったんだけど今日は特に事件が多くてさ…危機感知が止まなかったのもあって……それで…つい…
ガシャッ
バチィィン
るせエッ！
とっとと寝てクソ菌殺せッ
ううう

たまたまさっき現場で居合わせたんだけど休憩入った瞬間倒れてさ…
意識はあるけどひとまず病院には送っといたから

あとは任すわ
あとで瀬呂くんにお礼言わなきゃ…
いいから寝ろッ

こいつは死ぬまで
一生こうなんだろう

かつては気色悪ぃと
思ったそれも今なら分かる

危機感知を無視出来る奴では
ないことも知ってる

今も昔も
ずっと――

……はぁ

クソ…ッ

ギリ

あ…！

やっとクソ菌死んだンか
かっちゃんおかえり！
昨日の夜には平熱に戻ってたし怠さもすっかり治ったよ

ブッブッブッブッブッブッブッブッブッブッブッブッ
ニュース視聴中

触れた相手を一定時間硬直させる個性…
すごい個性だ
この個性、体が硬直個性が出せる状態な個性も出せないような完全硬直なのかどっちも変なんだろう？
一緒に戦うヒーローは共有しておいた方がいいそれにしても初手で敵触れて硬直させてしまえば大抵の敵は捕獲出来るし顔隠しての活動なら潜入とかも場合かなり有効か触れることがバレて避けら拘束もサポートも補ってるのか…
病み上がり早々うるせェッ
コイツ…
元気にブツクサしてんじゃねェぞ

えっあっ
ごめんつい

うーん…

ああクソ…

ただ

へ？

腹の底から沸いてくる

…えっと

あ、の

俺はなんで…

か、かっちゃん…？

具合悪い？

もしかして風邪
うつしちゃったかな…

何でもねえわ

チームアップお疲れさーん！

カンパーイ

オー！

肉食うぞー！

…あーいや
どーいたしまして

でもまじ
焦ったわ

今はうぜェくらいに
ピンピンしとる

そういや今日
飛び回ってるの見たな
元気そうで安心したわ

てめェアイツがただの風邪だ
って分かった上で俺にあんな
連絡寄越したろ

ん？うん
そうだけど

なんで

なんでって
そりゃまあ
だぁってね

倒れたのは事実だし
言っといた方が
いいでしょこういうの

あんましお前らのこと深く
知ってるわけじゃねーけどさ

緑谷って自分じゃ
倒れたとか言わな
そうじゃん

でも爆豪にとっては
緑谷のそういう事は
結構大事なこと
なんだろうなって

違った？

…チッ

ガブ

なあなあ！

なんか食いたいのねーかよ？

俺パース腹いっぱい

すませーん

クッパ

無ーし

次ココ

おーい爆豪二件目はー？

行かねー

まじかよ！

緑谷のそういう事は結構大事なことなんだろうなって

俺は…

出久のことを――

ガラ

あ？

何やっとんだ テメー

パッ

あっ

かっちゃん おかえり

邪魔なンだよ 退けや

キョット

マッテ

背中強めに 打っちゃったから 湿布を貼ろうかと…

イッ

かせ

え、いいの？

あざとう

俺ァはよ風呂 入りてンだよ

湿布がぐちゃって張り付いちゃってさ

苦戦してたから助かるよ

……

傷はねェ

風呂上がりだからか熱ィな

ッ――……

ビクッ

ひぁっ

び、びっくりしたあ…

なに…

なんか付いてた？

いや…

ひた…

オラ死ねッ

バチィィィン

あ、ありがとうかっちゃん

ミネ？

……

ほぼ無意識だった

けど確実に俺は…

ん？かっちゃん？

ドキャッ

確かめてェ…

…出久

出久

嫌なら避けろ

え…
なに
かっちゃん…？

俺は

出久(こいつ)は

どこまで―

ん……
……ッ
こいつ…

ンンッ

口あけろ

ッ…！

ん…

ふ…

…ちょ…と

まっ…

あ…？

はぁ

はぁ

かっ…

ちゃん…

はぁ

はぁ

…いっかい
待って…

…なァなんでだ

なんで避けねえ

なんで普通に受け入れとんだ

てめェその意味分かってンのかよ

なんでって…

それは…

……

風呂入る

分かンねーならいい

え？

かっちゃん…!?

ドク…

ドク…

…っ

ここ使い終わったら呼べや

ドク…

俺は何を焦って…

ちょ…

ちょっと待って…っ

タタタッ

は…？

Yシャツ

い…意味は…

ちゃんと

分かってるよ

あ…いや…

今分かったって感じなんだけど

Yシャツ

でもその…嫌じゃなかったんだ

だからそのえっと…

ごめんまだまとまってなくて上手く言えないや…

え

俺は

おまえに
そういう意味で
触れてェって
思ってんだよ

気の所為だって
何度も考えたわ

かっちゃん…

けど
抑えようと思っても
欲が湧いてきやがる

…さっきの
嫌じゃなかった
っつたな

おまえが何を
想像してるか
知らねえが

俺が言ってんのは
もっと先の話だぞ

ちゃんと分かってン
のかてめェ

…分かってるよ
でもさっきも言ったけど
本当に嫌じゃなかったんだ

僕はお人好しで
あんなことまで
受け入れたりしないよ

それにさ
かっちゃん…

僕だって君に
もっと触れたいって
思ってるんだ

…きめェな

本心だよ

……チッ

わーっとるわ

おいこら
もうギブか

ごめん
かっちゃん

今日はもう
無理かも…

はぁ
はぁ
?
なに?

なァ

ここ
コス
コス
なんか
感じるか?

ッ…
レズ
んー…?
変な…感じ?

多分ここが
おまえがケツでヨく
なれるとこだな
ん…
そう…なの?
覚えたら
イけるように
なンだよ
そんな感じはあんま
しない…けど…

覚えろや

そんな急に無茶な…

はぁぁ!? ンだとコラ

俺がヤってんだから無茶なわけねーだろ覚えさすわクソが

無茶ってそういうことじゃ…っ

ていうかほんともう自分でやるから大丈夫だよ…!

つべこべ言ってンじゃねェ

ケツに指突っ込むなんざ全く趣味じゃねェ

けどそれでも

こんな事さえしたいと思う

それも全部

出久だからだ

…なんか
改まると照れるね

今更緊張なんか
してンのかよ

そ、そりゃ
するよ っ

初めてなんだ…し…

ドキ

ハッ

心拍数やべえな
クソナード

うん…君もね

ドク

ドク

ドク

ドク

うっせンだよ

ドク

飲めば飲むほど
喉が渇くみたいに
止まらなくなる
かっちゃん…っ

肌の色
傷痕
体温
…っ
かたち
匂い
汗
感触
あ…っ

ビタッ

ごごごめん

気持ち悪い声出ちゃった…

……

…ここ良いンか

ん…

クリ

や……なんだろ

ぞわってする…？

あの…かっちゃん…？

ンだこれ…

まって…っ

声を聞いた瞬間

全身の血液が沸き立ったように熱くなった

もっと聞きてェ…

ちょ…っ

君なんでっ楽しそうなの…

興奮してンだよ

あ…ッん

うん…

どうにもこいつには
食指が動く

感じてるところを
もっと見てェと思うし

触れて善くなる
ところがあるなら
知りてェと思う

ん…っ

…っ

はぁ…っ

ローション
足すか…

かっちゃん
ホントいいよ
僕自分でやるから

毎回うるせえ
黙って力抜いてろ

だってやっぱ
そんなとこ汚いし…

ンなの誰でも
汚ェに決まって
ンだろ

んっ…

痛ェんか？

ちが…
だい…じょうぶ…

あッ…
かっちゃ…っ

なんか
やばい…ッ

…うあッ…

なか…へん…っ

ぐっ…

ビクーッ

う…あッ…

あぁ…ッ

あ…ッ

はっ

はっ

ビクッ

ビクッ

かっちゃ…あ…

やっと覚えてきたかよ

ぐり

ぐり

ま…

あ

ビクッ…

あの

ほんと

中すげェことなってンなァ？

まって

やばい…っ

ゴリッ ゴリッ

ビちゅ

ビちゅ

あッ…

あ…

っ、…

…かっ、ちゃん

あ…？

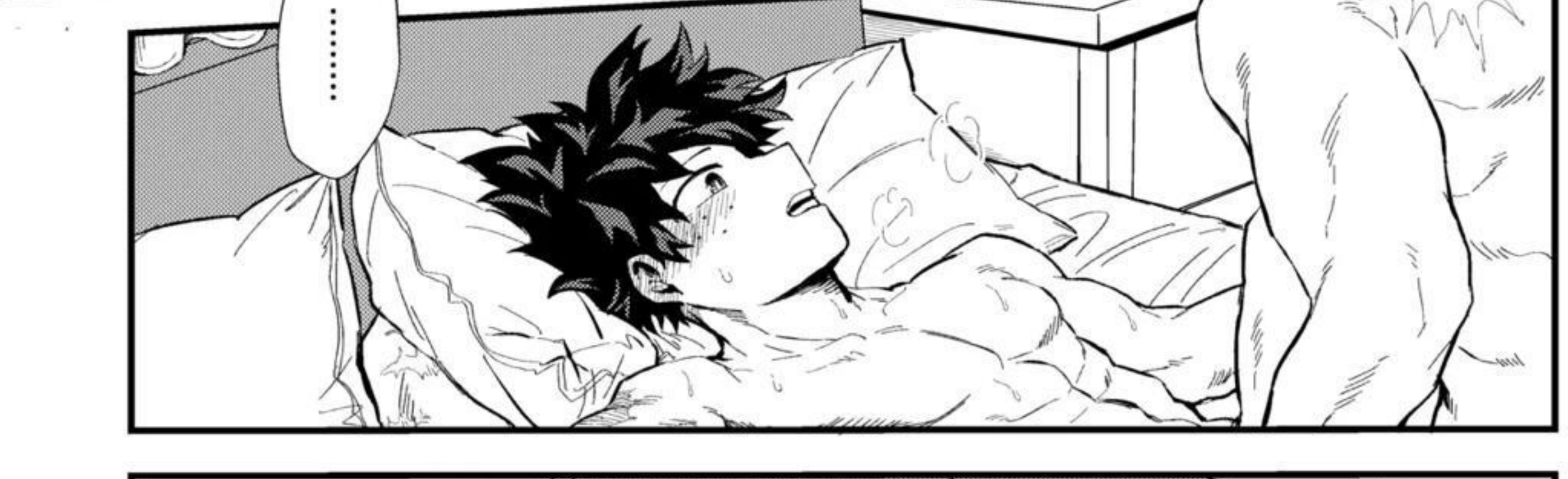
ビク

大丈夫、だから

もう…

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

…まァ
こんくらいでいけるか
ドク…
ドク…
ドク


……

ドク
ドク
ドク
ドク
ッ――…

ドク…

ドク…

かっちゃん

ハリ

その…もし

僕に

い、挿れるのが
無理そうだったら

やめても
大丈夫だよ

…無理とか一言も
言ってねーだろうが

ギュ

ドク

ドク

かっちゃん

ドク

ドク

ドク

出久

挿れンぞ

…うん

ゆっくり、ね…

わーっとるわ

ズプ

ッ…

テメ…ッ

んな強く締めンなや…ッ

ずぷぷぷ

ぎゅうっ

ごめ…ッ

い…っ

…ッ

はっ

はっ

はっ

う…

あ…っ

く…ッ

かっちゃ…

うッ…

ッ…

…ッ

…ッ

…ッ

…出久
力抜け

いずく

出久

は―…

…なァオイ
見ろよ
全部はいっちまったなァ？
あっ……
ぱく
ぱく
ほんとに
はいっ…て

ハッ…

ガン見かよ クソナード

ンな見たけりゃあ…

うえぇ?!

そンまま

見てろ

俺がナカに入ってんの

ぐぷぷ

分かるか？

なァ？

出久

トン

か…ちゃっ

ドク

ドク

ナカあちぃなクソが…

ドク

心臓が身体ン中で、ふたつになったみてェ

ドクドク

ハッ…何つー面してやがんだてめェ

…ッだってかっちゃ…

ドク

ばきゅ

ばきゅ

ドク

かっちゃんが…

…っンとに
てめーはよォ…

かっちゃかっちゃ
ばっか言ってたって
分かんねンだよ

…ッ
は…う
い…っ
はぁ
まだ
キツイんか
ゆさ
ゆさ
ぐちゅ
ぐちゅ
もちゅ
もちゅ
ほっ
ほっ
ふっ
ふっ
んん…っ
いずく

かっちゃん？
はぁ
ポロ
ポロ
クソ…ッ
もっと…

もっと
もっと
じゅぶ
じゅぶ
ぐぷ
ちゅ
ひ…ぁ
ん…

ぐぷ
まって
あっ
あっ
ちゅ

ここだろ
ぶるっ
あ…
や…っ
とちゅ
とちゅ

ぐっ
ふ…
…っ
ちゅう
ん…
ぐぷ

ぐちゅ
ぐちゅ
ふ…っ
ん…ぁッ
ぱぁ
ぱぁ

…クソ…ッ
やべェな…
ずぷ
ずぷ
ばちゅん
ばちゅん
かっ…ちゃん
あ……？

もしかして
イ、きそう…？

なら…かっちゃんの
好きなように
してくれていい、
から…

……チッ

てめェ…

随分と余裕そう
じゃねーか

ムカつくんだよ
そういうの

え…？

ぅあ…っ

ぱぷ
ぱぷ

う、そっ

かっちゃ

あッ

ぱん
ぱん

…はっ

出久…っ

ぱぷ

あ…

あっ

あッ

あ……ッ

ゼワ

ッ……

ドク

ドク

ドク

ドク

ドク

はあ…

はあ…

認めたくなくて
見たくなくて

ずっと遠ざけてた

いつの間にか
追うようになって

自分の弱さを
理解した

だからこそ
今は思う

もう何もかも全部

目を逸らさねェ

かっちゃん

大丈夫？

ぼーっとしてたから…

……っンともねーわ

…ケッどーだ

うん今は大丈夫

中でドクドクってなってるの分かるくらい平気だよ

この辺…？

ぃいっ…

わっ
ドロロ

動いてもらってばっかだったから疲れたよね
疲れとらんわ
舐めんなカス

……
どう…だった？

……ムカつく
ボリ

ムカ…？
イテテ…ッ
痛いよ…かっちゃん
ガブ
ガブ

うるせえ

これも全部だ

——全部

近え…

おはよう

かっちゃん

照

起きてから
シーツ洗うぞ

あ！
そうだね

どうせならもう
全部洗っちゃおうか

風気持ちいい…

てめー
堂々とサボりかコラ

ガラ

干すの終わったんか

あ、ごめん！
風が気持ちよくて
ついい…

干すのは
終わったよ！

いい天気だね

出久

？

なに…

へへ…
ンだそのキメェ反応はァ…
てめーがどう思ってやがるかは知らねえが
俺ァ昨日ので終わりにするつもりはねェからな
え…？
ずっと痛ェの我慢しとったろ
そんなことは…
痛かったンが殆どだろうが
かっちゃん…

そんで
いずれはイかし殺して
ぐっちゃぐちゃの
ドッロドロにしたるわ

ビッロロン

かっちゃん…!?

完璧主義者
なんだよ俺は

君らしいなぁ…

つーかメシだメシ

出掛けンぞ

一応うどんあるよ?

俺ぁいま
ラーメン食いてンだよ
いいから黙ってついて来い

もしかしてこの前
行きたいって言ってたところ?

ンでいちいち
覚えとンだ

僕もそこ
気になってたんだ

帰りにさ……

この感情にたった一つの言葉を当て嵌める事なんて出来やしねェ

全て俺の本心で

きっと

一生在り続ける

だから

どこまでも——